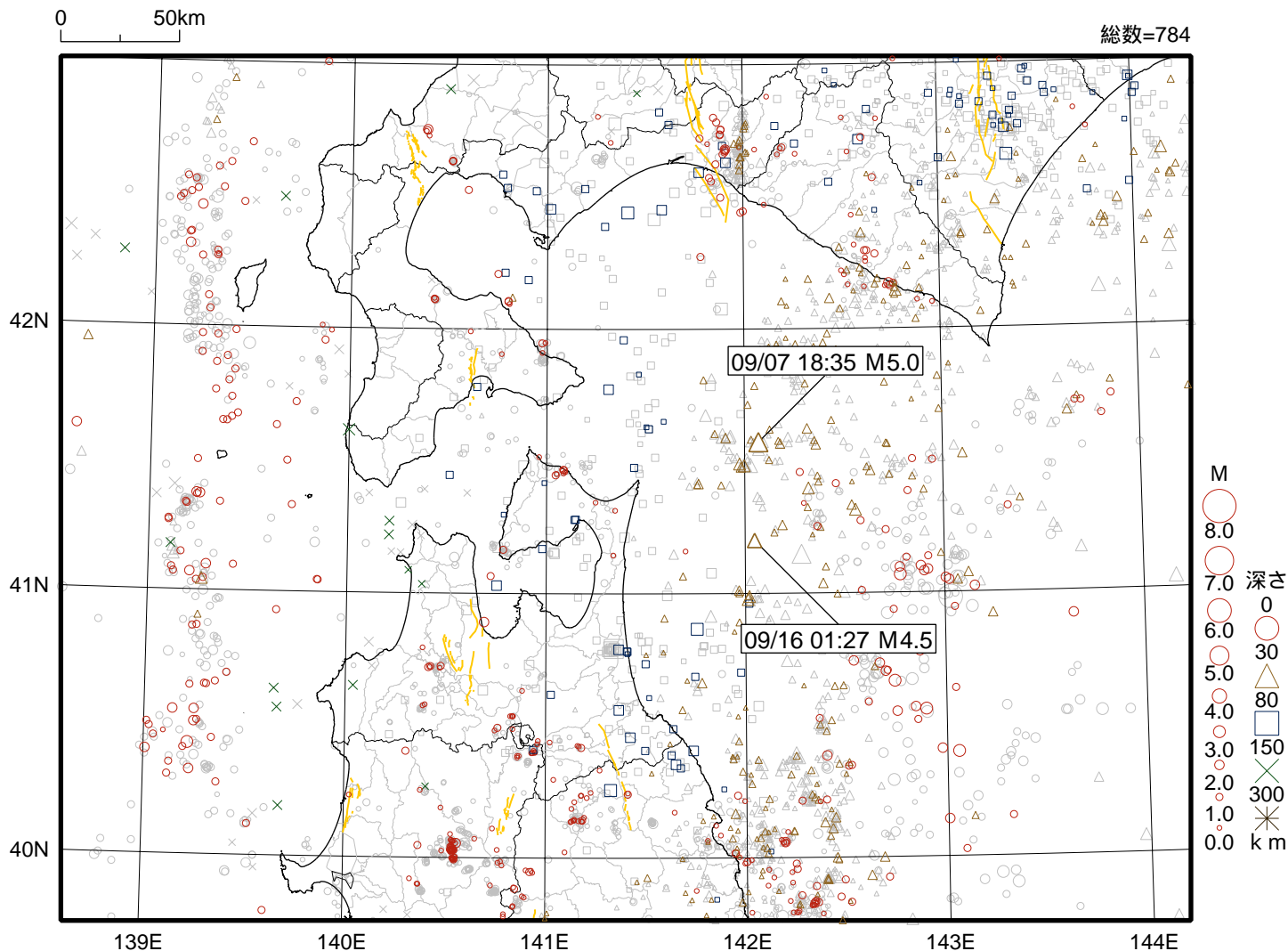


# 渡島・檜山地方の地震活動図

2019年9月1日～2019年9月30日

震央分布図

函館地方気象台



これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。

記号Mはマグニチュードを表します。

図中橙色の線は地震調査研究推進本部による主要活断層を表します。

過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月(今期間を含まない)の震央を灰色のシンボルで表します。

## 地震概況(2019年9月)

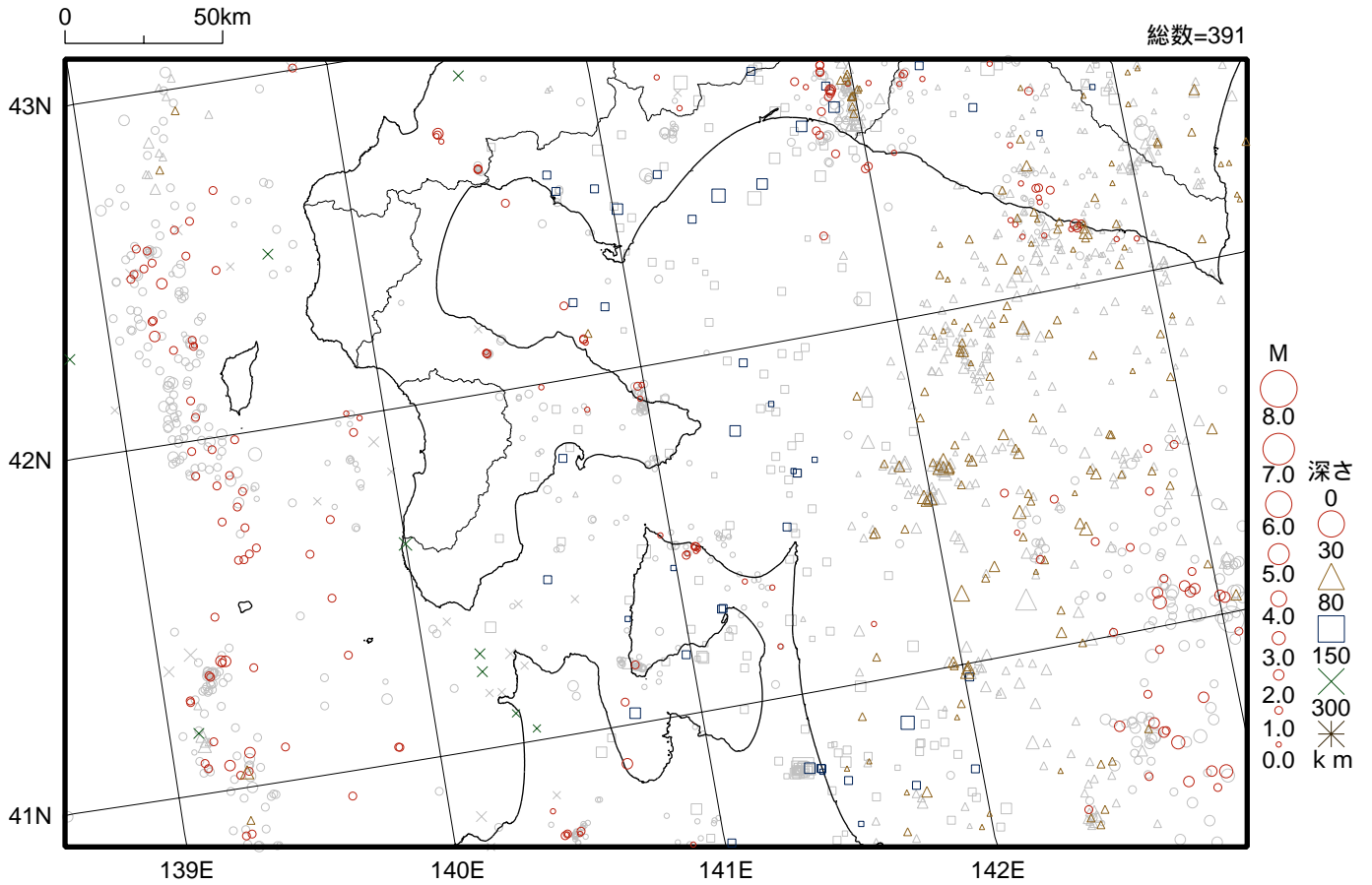
この期間、渡島・檜山地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は2回(前月は6回)発生しました(「震度1以上を観測した地震の表」参照)。

7日18時35分、青森県東方沖の地震(M5.0、深さ64km)により、函館市泊町で震度3を観測したほか、渡島地方東部・西部で震度2～1を観測しました。

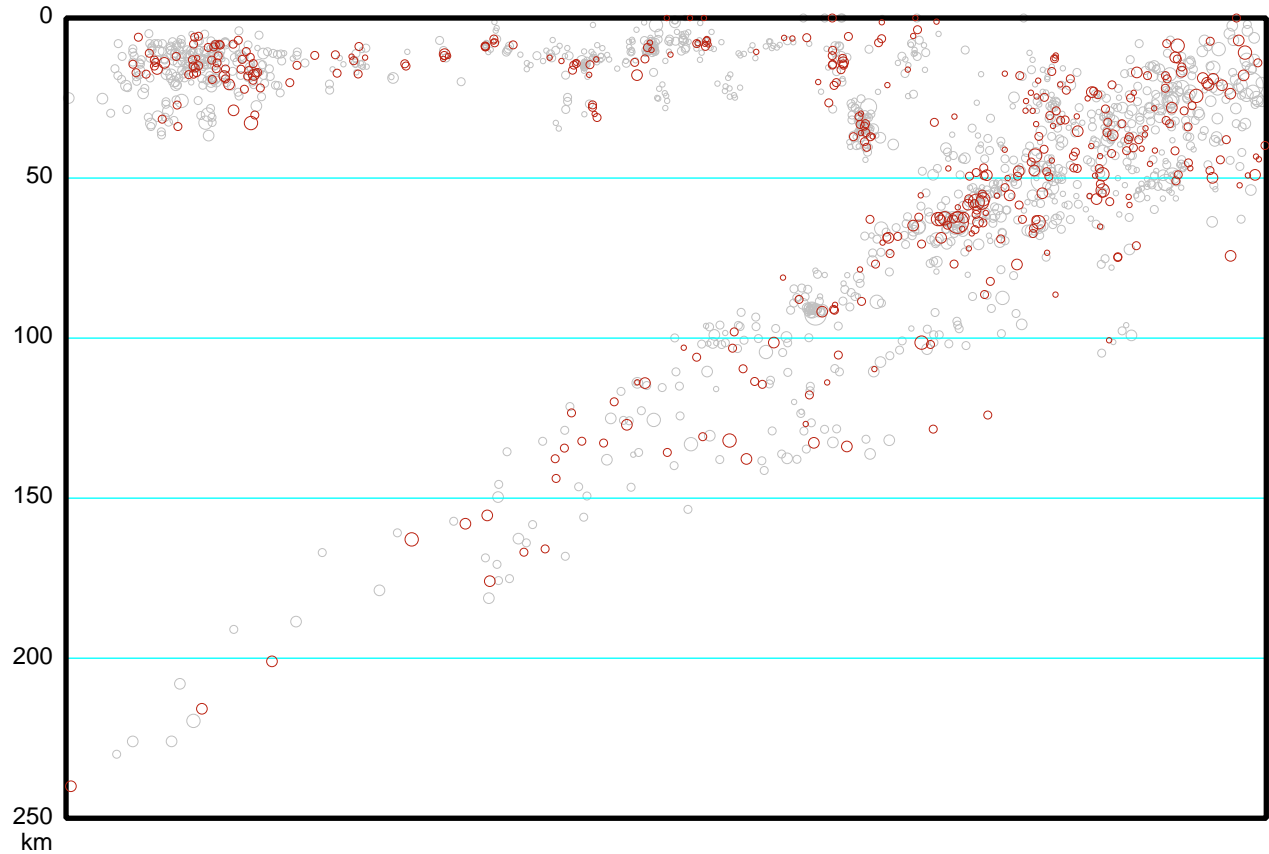
この活動図は、函館地方気象台のホームページに掲載しておりますのでご利用ください。  
ホームページのアドレスは、「<https://www.jma-net.go.jp/hakodate-c/>」です。

2019年9月1日 ~ 2019年9月30日

震央分布図



断面図



これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。  
記号Mはマグニチュードを表します。  
過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。

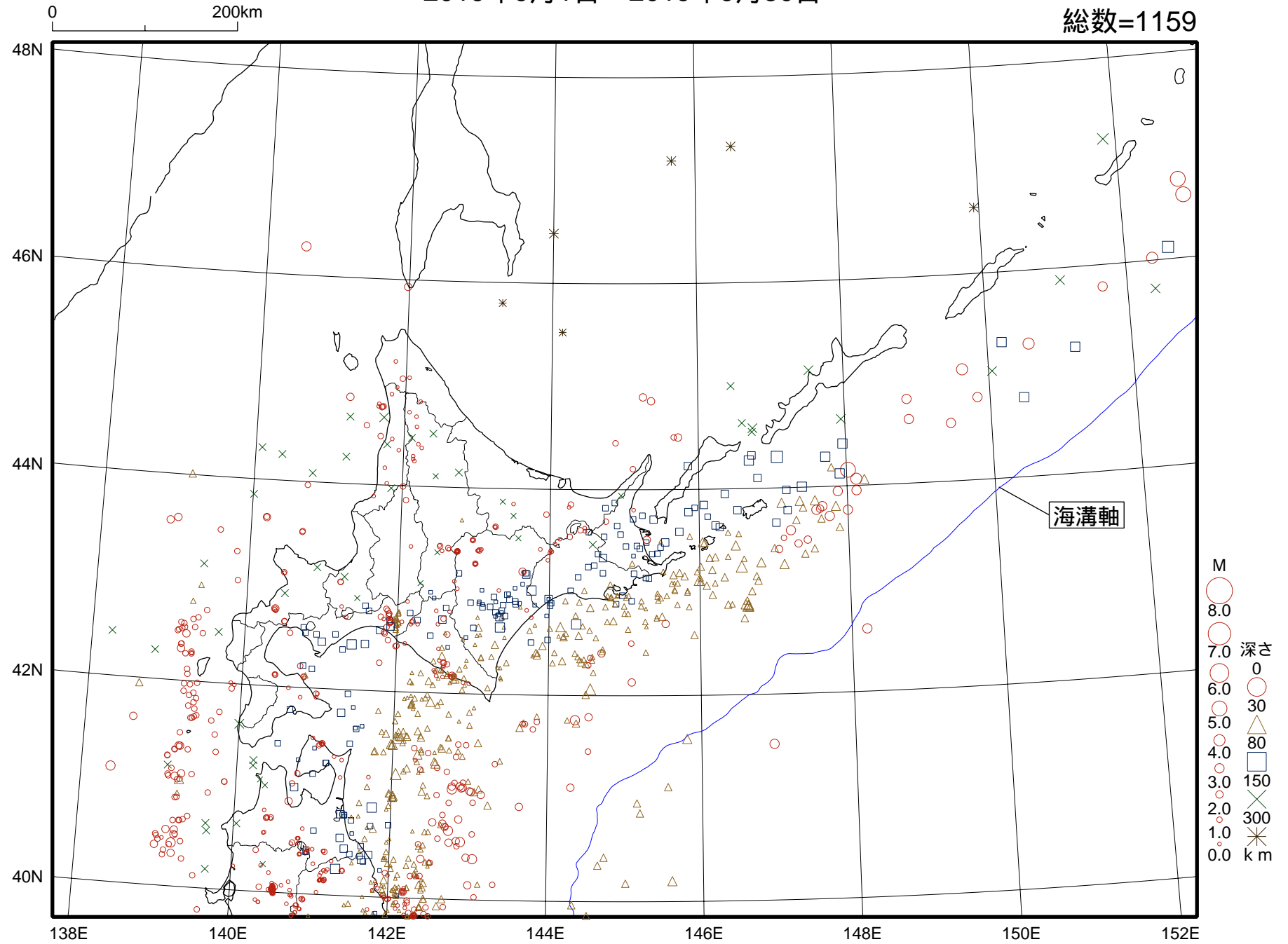
# 北海道の地震活動図

2019年9月1日 ~ 2019年9月30日

札幌管区気象台

総数=1159

震央分布図



## 震度 1 以上を観測した地震の表 (2019年9月)

年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (km)	規模 (M)
2019年 9月 7日 渡島地方	18時35分 震度 3 震度 2 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町 * (30) 函館市新浜町 * (18) 函館市尾札部町 (06) 函館市美原 (08) 函館市大森町 * (10) 函館市川汲町 * (12) 函館市日ノ浜町 * (13) 七飯町桜町 (09) 七飯町本町 * (08) 鹿部町宮浜 * (11) 渡島森町御幸町 (06) 渡島森町上台町 * (08) 渡島森町砂原 * (14) 福島町福島 * (07) 木古内町木古内 * (12)	41° 34.3 N	142° 04.2 E	64 km	M5.0
2019年 9月 16日 渡島地方	01時27分 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町 * (12) 函館市新浜町 * (06)	41° 12.0 N	142° 02.8 E	58 km	M4.5

各地の震度は、渡島・檜山地方のみを掲載しています。

\* のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

地震概況ではセントロイドの深さで表現した地震が含まれている場合があります。

震源の緯度、経度、深さ、規模は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

( )内の数値は0.1単位の詳細な震度 (計測震度) の小数点を省略して表しています。

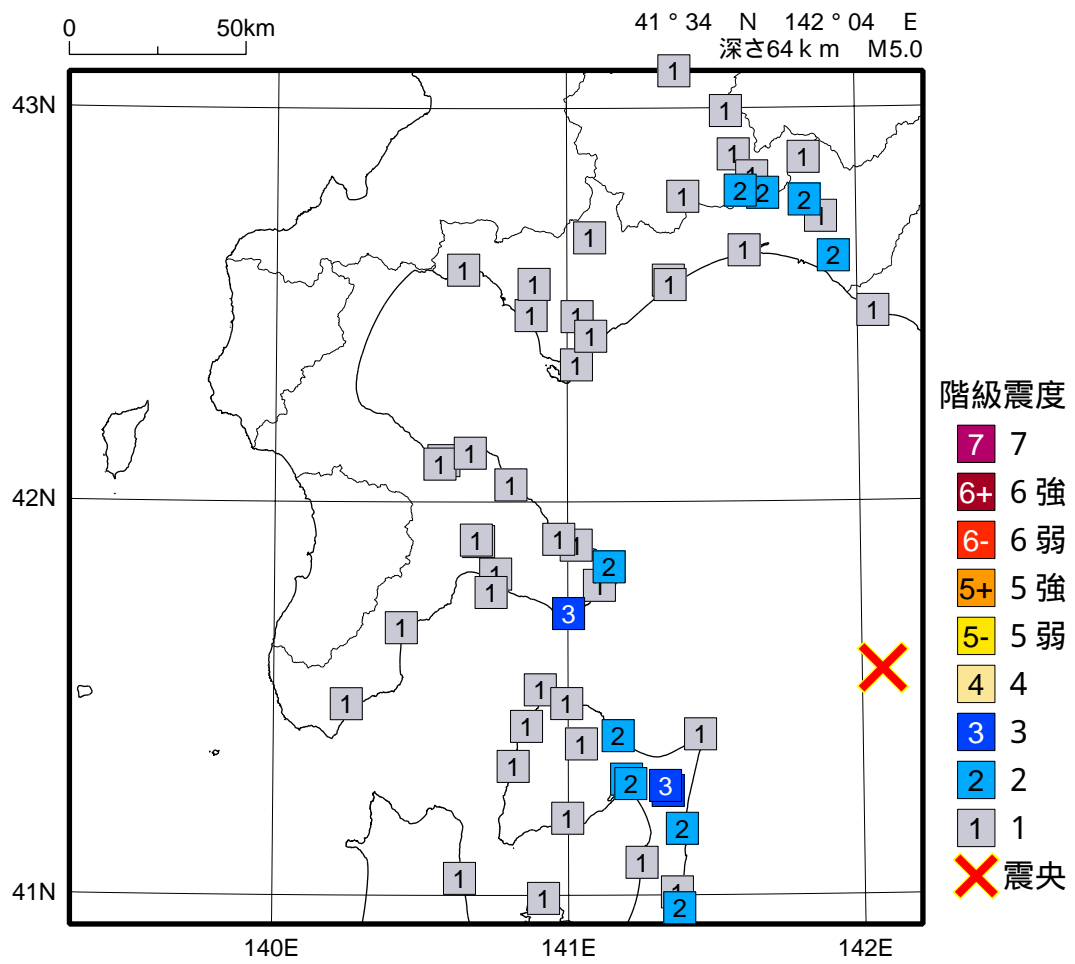
計測震度と震度階級の対応は下表のとおりになっています。

### 計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。

2019年 9月 7日18時35分 青森県東方沖の地震の震度分布図



## 【防災メモ】

# ～津波観測点～

津波の観測・監視には、気象庁のほか、国土交通省港湾局、国土地理院などが観測している潮位データも活用しています(図1、写真1)。気象庁では、これらのデータをリアルタイムに収集し、沿岸の潮位観測点で津波を観測した場合には、津波の到達時刻や高さを「津波観測に関する情報」として発表するとともに、観測に基づいて、その後に予想される津波の高さの再評価を行い、津波警報・注意報を更新しています。また、沖合の津波観測点で津波を観測した場合には、津波の第1波の観測時刻と押し引き、その時点までに観測された最大波の観測時刻と高さに加え、沖合の観測値から推定される沿岸での推定値(第1波の推定到達時刻、最大波の推定到達時刻と推定高さ)を「沖合の津波観測に関する情報」として発表しています。

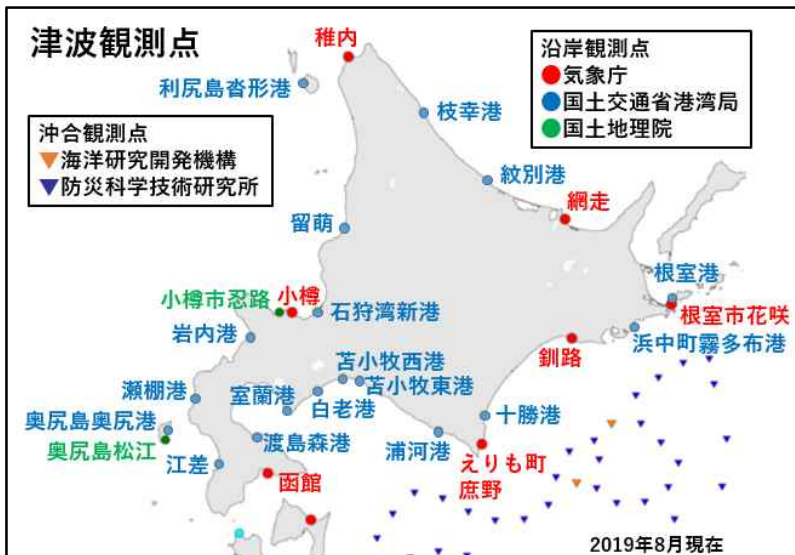


図1 北海道の沿岸及び沖合の津波観測点

写真1 津波観測計(電波式)  
(気象庁職員撮影)

気象庁(<https://www.data.jma.go.jp/svd/egev/data/tsunamimap/Hokkaidou.html>)

沿岸の潮位観測データは、気象庁ホームページの「潮位観測情報」で確認することができます(図2)。下記グラフは函館の観測データの例を表示しています。

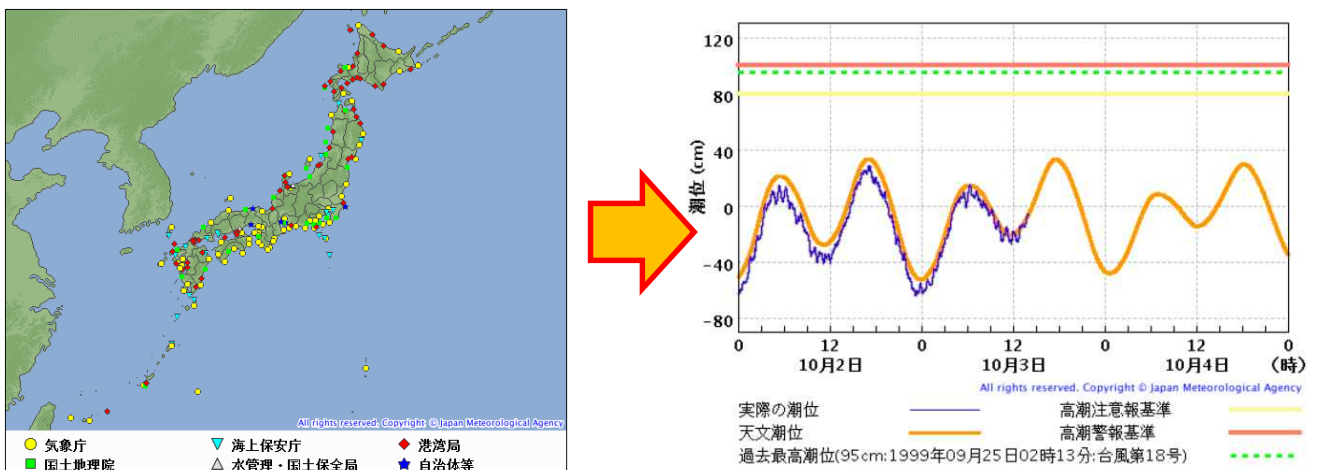


図2 潮位観測情報

(<https://www.jma.go.jp/jp/choi/>) より